



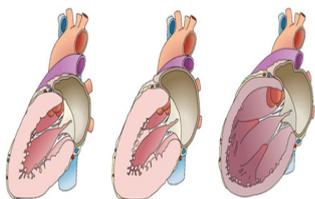
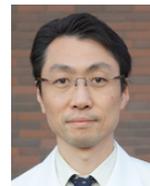
東京医科歯科大学難治疾患研究所市民公開講座 —最先端生命科学講座シリーズ 第9回—

東京医科歯科大学難治疾患研究所は、「難治疾患に挑む。」をミッションに掲げる研究所であり、2009年には文部科学大臣により難治疾患の全国共同研究拠点に認定されました。がん、心・血管病、神経疾患、骨・関節疾患、感染症・免疫病、生活習慣病など、幅広い領域にわたって研究しています。本市民講座は、最先端の研究内容を一般の方々にわかりやすく紹介しており、今回は心臓病の研究している2人の講師が心不全・不整脈などについてご説明します。

日時：平成26年6月20日(金)午後7時～9時
場所：文京シビックセンター4階 シルバーホール

講演 1 心不全／心筋症を理解し、 予防・治療に活かしましょう

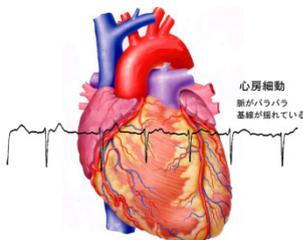
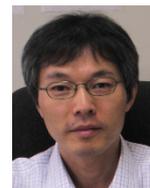
講師：林 文晴



心臓病は現在日本でがんが続く2番目の死亡原因となる重要な病気です。心不全はその主たる原因ですが、その原因や状況は多種多様です。個人個人の状況や増悪する要素をきちんと評価、理解し、予防してゆくことが非常に大切な病気です。今回は心不全の様々な原因や状態に加え、難治性心不全を引き起こす心筋症の研究を通じてわかる対策についてお話したいと思います。

講演 2 脳梗塞・認知症を併発する 怖い不整脈『心房細動』

講師：古川 哲史



心房細動は最も頻度の高い不整脈で約100万人の患者、約100万人の潜在性の患者がいます。心房細動は、脳梗塞・認知症・心不全を高率に併発する怖い不整脈で、脳梗塞の約30%は心房細動が原因といわれています。今回は、心房細動がどのような病気なのか、本研究所で展開している心房細動のオーダーメイド医療を目指したゲノム研究はどのようなものか、の2つをお話します。

皆様のご参加をお待ちしております。(入場無料)

事前登録は不要ですが、予約を希望される方は文京区の担当まで住所・氏名・電話番号・「最先端生命科学9」を記した往復はがきでお申込み下さい(区ホームページからも申込可)。

©〒112-8555 文京区アカデミー推進課 ☎(5803)1307

共催：学際生命科学東京コンソーシアムは東京医科歯科大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学と連携し、地域のみなさと産官学連携によるイノベーションの推進に貢献します。